

2021年1月26日

報道機関各位

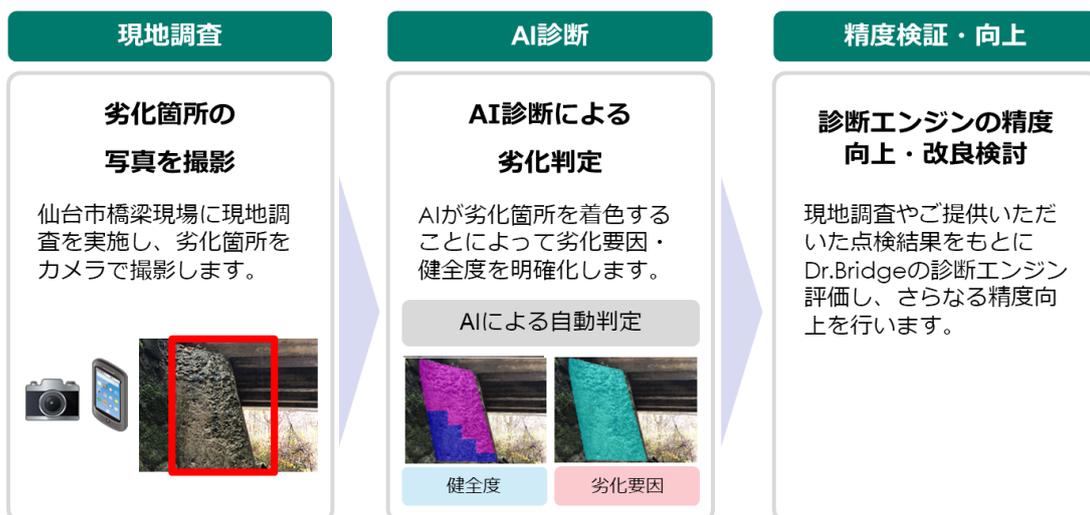
日本ユニシス株式会社

仙台市の「クロス・センダイ・ラボ」で AI 橋梁診断支援システム「Dr.Bridge」の実証実験実施

仙台市と日本ユニシスは、「クロス・センダイ・ラボ」の近未来技術実証ワンストップセンター事業の一環として、コンクリート橋梁などの点検や診断業務の省力化と品質向上を実現する「Dr.Bridge」の実証実験を実施しています。「クロス・センダイ・ラボ」は、民間企業からの提案や相談を一括で受け付け、関係部局との調整を一元的に行う窓口です。

日本ユニシスは、仙台市の有する道路橋に対し「Dr.Bridge」でAI診断を実施し、診断精度の検証と得られたデータをもとに、さらなる診断エンジンの精度向上を行います。

実証実験の進め方について



【背景と概要】

日本ユニシスは、年々老朽化が進む社会インフラ点検における社会課題解決のため、AI 橋梁診断支援システム「Dr.Bridge」を2020年6月から提供開始しました。本実証実験は、仙台市が設置した、民間企業からの提案や相談を一括で受け付け、関係部局との調整を一元的に行う窓口、「クロス・センダイ・ラボ」の近未来技術実証ワンストップセンター事業として、仙台市の有する橋梁に対し、「Dr.Bridge」によるAI診断、診断精度の検証を実施しています。

2021年1月からは、仙台市の橋梁点検結果をデータ化し、AIの学習データとして活用することで「Dr.Bridge」の診断エンジンの精度向上を行います。

【仙台市の取り組み】

多様化する行政課題や地域課題の解決には、行政とは異なる視点、ノウハウ、アイデアなどを有する民間企業や大学など、多様な主体との連携を深めることが必要と考え、まちづくり政策局政策企画部プロジェクト推進課内に一元的な窓口「クロス・センダイ・ラボ」を設置しました。担当部局が明確でない、あるいは複数の部局にまたがるような案件に関しても、相談、提案しやすい環境を整えるとともに、「パートナーシップ推進事業」と「近未来技術実証ワンストップセンター事業」の2つの取

組みにより、的確に行政課題や地域課題の解決に結び付けていきます。

【日本ユニシスの取り組み】

昨今、全国の橋梁点検の現場では、橋梁の老朽化が進み、膨大な橋梁数に対して点検に対応できる高度な技術者が不足しています。日本ユニ시스と日本海コンサルタントが共同開発し提供する「Dr.Bridge」は、登録された画像データと橋梁の部材やひび幅などの諸元データを組み合わせ、深層学習を行う独自技術により、精度の高い判定を実現します。

以 上

■関連リンク：

仙台市「クロス・センダイ・ラボ」 <https://www.city.sendai.jp/project/cslab/cslab.html>

AI 橋梁診断支援システム「Dr.Bridge」 <https://ag.unisys.co.jp/dr-bridge/>

株式会社日本海コンサルタント <https://www.nihonkai.co.jp>

※Dr.Bridge は、日本ユニ시스株式会社と株式会社日本海コンサルタントの商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

https://www.unisys.co.jp/newsrelease_contact/